



平成 30 年 10 月 5 日 立川市広報課

送付文書 2 枚・冊子 1 冊

報道機関 各位

市史編さん広報紙「たちかわ物語」第 6 号刊行

立川市では、平成 27 年度より開始した、市史編さん事業の広報紙「たちかわ物語」を刊行しておりますが、このたび、平成 30 年 9 月 20 日に、第 6 号を刊行いたしました。今後も、事業の内容や調査成果を、市民の皆様にはわかりやすくお伝えするために、懐かしい写真なども織り込みながら、春・秋 2 回刊行してまいります。

第 6 号 目次

- 新しい市史の編さんによせて(保坂一房)…2
- [連載]立川おっこぼれ話 江戸時代の絵図と方位
～北が上とは限らない?～…2
- 部会短信…3
- 市史のつくりかた 先史時代の立川…4-5
- 部会特集 先史部会
向郷遺跡出土 竹内勇貴氏寄贈資料の整理と調査…6-7
- [連載]資料をよむ～「武蔵国多摩郡砂川村鹿絵図面」に見る
砂川の田用水と水田～…8-10
- 新編立川市史 刊行物紹介…10
- 平成 30 年 4 月～9 月活動報告…11
- 資料・情報提供のお願い…11
- [連載]立川写真館 先史部会編



■ポイント

上で説明する第 6 号では、平成 31 年 3 月発行を予定している『資料編地図・絵図』と先史部会発行の『向郷遺跡調査報告書 竹内勇貴氏寄贈資料』の内容紹介を中心に編成しています。

立川で出土した縄文時代の土器の写真を多く掲載するほか、立川の歴史を知る上で重要な絵図・地図を掲載、解説しています。

平成 31 年 1 月 19 日(土)には、多摩郷土誌フェア内で開催される市史編さん関連講演会も控えています。



■第6号掲載写真一例

→小川忠博氏撮影

竹内資料の土器集合写真

※竹内資料とは

昭和45～52年当時、中学生だった竹内勇貴氏が発掘した向郷遺跡（現在の立川市羽衣町3丁目付近）の遺物。

6号では竹内資料の解説あり。



↑へびの形をした把手

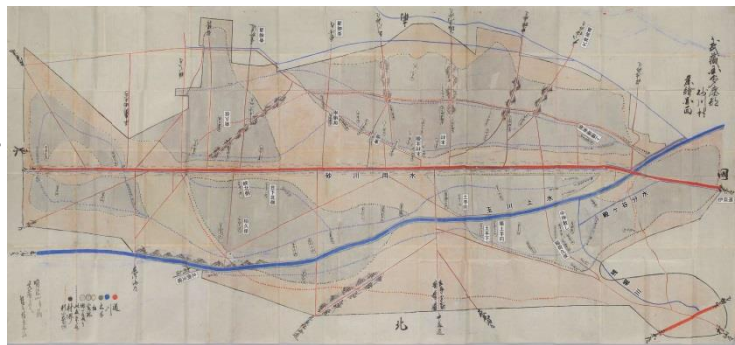


↑向郷遺跡出土の土器片



→

「武蔵国多摩郡砂川村魚絵図面」
明治初めに砂川村で計画された新田開発について描き示した図。
6号では水路活用（水田など）の解説をしている。



「たちかわ物語」は、市内の各学習館・会館、立川市歴史民俗資料館、立川市役所市制情報コーナー、女性総合センター・アィムにて配布している他、市のホームページから閲覧することもできます。

HP https://www.city.tachikawa.lg.jp/chiikibunka/sisi/hensanshitu/shishi_top.html

【問い合わせ】

立川市産業文化スポーツ部地域文化課 担当:比留間 TEL506-0012(内線4500)

小川 TEL506-0021(内線4044)